

2019 年度 保育所における自己点検・自己評価（筑後二川保育園）

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かしていきます。

[評価・記入の方法]・A B C Dの4段階評価です

- ・意見、改善策について話し合いを行い記述しています

A : 十分できている
 B : だいたいできている
 C : やや不十分
 D : 改善を要する

[評価者] ・園長、主任、副主任、リーダー保育士（計6名）

項 目

○保育の計画の作成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・全職員での検討や、共通理解をする機会を今以上に増やし、よりよい保育に努めていく。 ・保育のPDCAサイクルを更に意識していく。特に、保育を省察することに重点をおいていきたい。
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか		○			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	○				
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか		○			
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか		○			
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達への理解や発達の連続性を意識した保育に更に努めていく ・特に乳児においては、応答的に関わること、幼児クラスにおいては、5領域を常に意識し保育に取り組む。 ・外部講師の英語・体育教室からの学びを日常の保育に更に活かしていく。
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか		○			
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか		○			
	(4)素材・用具を適切に活用しているか	○				
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか		○			
日 時 程	(1)1日の流れ（デイリープログラム等）は、現行でよいか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・可視化が必要だと感じる。

行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か	○			<ul style="list-style-type: none"> ・行事についても PDCA サイクルの方法で検証し、充実させていく。 ・保護者の願いや意見に耳を傾けながらも、子どもたちの最善の利益の為の保育に努めていきたい。 	
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか	○				
給食について	(1) 給食献立は、園児に対しての工夫や配慮をしているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児の利用が増えたことで一人ひとりに応じたメニューの充実は今以上丁寧に取り組む必要がある。 ・職員全員が衛生的で安全な食の環境づくりに努める。 	
	(2) 園児の年齢（月齢）を考慮した食育計画で、食育を実施しているか		○			
	(3) 食材の安全・衛生管理に努めているか		○			
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては常に最善で適切な配慮がされていることは評価に値する。 	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか	○				
施設・設備	(1) 施設内外、設備の安全点検を計画的に作成・処理しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・遊具・用具の整理・保管は定期的に行われている。 ・砂場の消毒は定期的に行っており、衛生で安全な環境での遊びが出来るように努めている。 ・防災訓練は毎月1日必ず行っているが、内容を更に充実させていきたい。 	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか		○			
開かれた保育所づくり	他施設・他機関との交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・他施設、他機関との交流等も職員全員で取り組めるように考える。 ・リーダー的立場にある職員の職務内容を更に充実させていきたい。 ・保護者や地域に向けて、もっと発信した方がよい。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っているか		○		
		(3) リーダー的立場にある職員同士が、打ち合わせを行うと同時に、職員一人ひとりの保育に対する理解を深め、子どもやその保護者の援助について共通理解を図っているか		○		

開かれた保育所づくり		(4)学校公開日やその他の学校行事等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか			○		・学校行事についても保育園内でも周知し、積極的に関わっていききたい。
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動や保育、家庭支援に生かしているか			○		
	家庭・地域社会との連携	(1)ニーズに適切に対応し、保護者以外も対象にした参観日（園庭開放等）を設定しているか			○		・保護者にどのようなニーズがあるか、またそれに対応していくための方策をどうするかを十分に検討し実施に向けて取り組む必要がある。 ・地域に貢献する機会を図り交流に努めていきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か			○		
		(3)（乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか				○	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか			○		
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭やテラス、保育室等を開放しているか	○				・もっと積極的に園庭開放の利用を働き掛けていくことが大切。 ・子育て講演会を行っていないので、保護者が学べる機会を検討していきたい。 ・利用者は、保育参観、運動会、親子遠足を通して親子で遊ぶ機会があるが、地域の親子にはそのような機会が少ない。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか			○		
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか				○	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか			○		
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか				○	
	情報の発信	(1)園だより、クラスだより、ホームページ等で施設の情報を提供しているか	○				・地域に開かれた保育園として、情報発信のあり方を検討し実現していく。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか				○	
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか				○	・保育士の自己評価とそれに関連する課題を見つけ、内部で省察すること合わせて進めていきたい。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか				○	

総評・課題

総合評価 【B】

保育所の役割が多様化している今、保育所保育に携わる職員一人ひとりが知見を深め、多様化する保育に対応できるように努めていく必要がある。また、保護者や地域とのかかわりや、子どもの最善の利益の為の保育とは何かを考える機会を更に作り、省察を重ねながらPDCAサイクルを確立して行く道筋を作りたい。